

## 海の上の教室

細谷 昂 (ほそや すばる)

千葉県立 市川工業高等学校 建築科



海岸の堀め立てや環境破壊により、都心部では、自然の海について学ぶ事ができなくなっている。

本計画は、都心から近く自然豊かな千葉県の館山の海岸に「海の上の教室」を設計する。海水に触れる空間、料理をする空間、くつろぐ空間、遊ぶ空間の4つに分かれている。それぞれの空間に屋根が一つずつあり、ゆるやかに空間を分けている。

海の上の教室は、五感を使って楽しく遊びながら多くのことを学ぶ事ができる。

### 廣野

環境破壊により都心の海は汚れている。そう感じた作者は、内房の布良浜海岸に場所を定め、本当の自然の海を五感で体験し学ぶための海に張り出した教室を計画した。それぞれに意味をもたせた半屋外の3つのレベルの広場は海に向かって徐々に降りて行き、4枚のシャープな板が形や勾配を変えながら上部にふわっとかけられている。現地砂浜の砂をそのまま用いたという構想では作者の意図するものがよく表現されており、本当に高校生の作品？というほどのセンスを感じてしまった。大学生に見られるような時代や社会を斜めから見たテーマ設定の葛藤等はなく、こんなきれいな海にあっというよねというシンプルな問いかけた。

ぐつぐつ広場等各スペースのネーミングも楽しく、表現は今一十分ではなかったが組み立ての自由な家具の提案にまで言及されている。構造的な配慮でさらに向上する余地も指摘された。この非凡な才能を今後さらにのびしてもらえることを期待したい。

(審査委員：神成 健)